



国際芸術家センターの新たな活動

一緒に文化交流を実現しましょう

人と人の直接の交流が制限されたこの3年間を経て、待ちに待った対面イベントの再開で、実際に会い触れ合うことの当たり前の幸せをかみしめています。

終結がみえてこないロシアとウクライナの戦争をはじめ多くの要因でさらに複雑化している世界情勢の中、それぞれの国や民族の文化を理解し尊重することが世界平和につながっていく、と IAC の活動理念を再確認しています。

直近の1年は、文化イベントを行っている他の団体とも協力し、IAC のネットワークを活用することで、お互いの活動の認知度を上げることができました。(詳細は、本号3ページを参照ください。) 今後とも、IAC は、各国を知り理解する文化交流事業を展開すると同時に IAC を初めて知った方々と協力して、もっと広く文化交流事業を実現していきたいと考えます。気軽に IAC にご相談をお寄せください。

Updates on IAC activities

Join us for our cross-cultural events

In-person events have resumed after 3 years of behavioral restriction in our community and I now relish happiness of seeing IAC members and friends directly. As the war drags on between Russia and Ukraine and the international situation is becoming more and more complicated in many aspects, I again realize the principles behind our activities: respecting other nations and cultures leads to world peace.

Last year we could raise our awareness and awareness of others by collaborating with external organizations and making the most of our network (see page 3 for details). This year we will continue to provide existing cross-cultural programs and we would also encourage our new friends to work together in making our new programs happen. Feel free to contact us if you need any assistance.

大使館でお茶を



日本に居ながらにして、各国のおもてなしを大使館や大使公邸で楽しめます。

Join us for tea at the embassy

第27回

エチオピア連邦民主共和国



2023年2月4日

いつものお茶会とは趣向を変えて、エチオピア・コーヒーセレモニーを体験しました。エチオピア・コーヒーセレモニーは、お客様に美味しいコーヒーを入れるために、一つ一つの工程を丁寧に進めていきます。そこには、日本の茶道と共通している客人へのおもてなしの心を感じました。



フォジア・セイドウ・タ
ヒル三等書記官
Ms.Fozia Seid Tahir



テスファフン・テクレサディック・ハイル
一等書記官
Mr.Tesfahun Tekletsadik Hailu

第28回

タンザニア連合共和国



2023年3月3日

このシリーズは、2015年9月のタンザニア大使館が初回でした。今回2回目ですが、初めてのタンザニア体験の参加者も多く、特にカンガ（諺やメッセージの書かれたタンザニアのコットン布）の着付けは盛り上がりました。当日のお召し物とのコーディネートを考えてのカンガ選び、皆さん、素敵でした。



バラカ・ハラン・ルヴァンダ 特命全権大使
H. E. Mr. Baraka Haran LUVANDA



第29回

セルビア共和国



2023年4月26日

セルビア大使館とは今回が8回目のイベントで、大使館移転後は初めてでした。Monde Delicious様のご協力で複数のセルビアワインを試飲させていただき、それぞれの風味の違い、おいしさに感激しました。2022年、日本との友好140周年を迎えたセルビアとは、大使館を通じ、今後も交流を深めたいと気持ちを新たにいたしました。



マリヤ・ペリシッチー等参事官
Ms.Marija Perisic



富永正明さん
Masaaki Tominaga, Local assistant

シュミット孝子さん
Monde Delicious 取締役



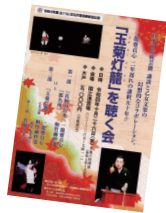


IAC の文化交流の大きな2つの特徴は、世界中の文化を知る機会を提供していること、同時に日本の文化の発信も行っていることです。この1年間、文化イベントを行っている他の団体とも協力し、相互の活動支援、認知度アップにつなげることができました。

2022年10月25日

国立演芸場

たまぎくどうろう
「玉菊灯籠」を聴く会



乙女文楽と講談のコラボで楽しむ「玉菊灯籠」(たまぎくどうろう)のゲネプロ(総リハーサル)を、留学生とその関係者など16か国40名と一緒に鑑賞しました。

講談師の一龍齋貞心さんの外国人に鑑賞してほしいというご希望をお聞きし、IAC が留学生への参加呼びかけをしました。

日本語がすべてわからなくても、江戸吉原の遊女・花魁玉菊と大工の弥吉の悲恋物語に魅入られたようで、文楽と講談の背景をもっと知り、さらに楽しみたかったという感想もいただきました。

隼町の国立劇場は演芸場も含め、建て替えに向けて2023年度には閉場、貴重なこの時期の寄席体験となりました。

一龍齋貞心 <https://teishin.hp.peraichi.com/>



講談師の一龍齋貞心さん(左)と乙女文楽人形使い桐竹蘭紗也さん



写真：小端アキコ (IAC 会員)

2023年3月31日



認定 NPO 法人キッズドア <https://kidsdoor.net/>

認定 NPO 法人キッズドアの高校生がタンザニア大使館を訪問

認定 NPO 法人キッズドアは、すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現を目指して子どもをめぐる社会課題の解決に取り組んでいる団体です。キッズドアの高校生の皆さんのタンザニア大使館訪問を IAC がアレンジしました。

同大使館では、タンザニア国についてのプレゼンを受け、カンガの着付け体験、タンザニアコーヒーや紅茶、スナックも味わい、なかなか機会がない大使館訪問を満喫した様子でした。

この度の協力で IAC も、高校生を取り巻く環境が複雑なことも知ることができました。



写真：黒川邦郎

第1回

2022年9月22日(木)

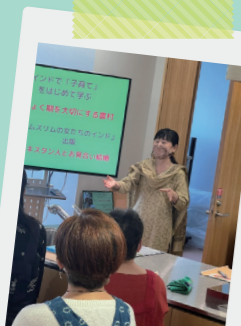
北インド(インド) 「北インドの 結婚式の料理」

講師：アリ三貴子さん

menu

マトンコールマー
(マトンのカレー)

ジャールマー
(米のスイーツ)



講師のレクチャー



カレー作りの講習風景

第2回

2022年10月27日(木)

スリランカ 民主社会主義共和国

講師：早水文秀さん

menu

魚のカレー
(フィッシュベネガティアル)

キリバト
(ココナッツミルクご飯)

ルヌミス
(唐辛子と玉ねぎのペースト)

コキス
(米粉のスナック)

キリテー
(スリランカのミルクティー)



カレー作りの講習風景



野菜も沢山入る
フィッシュカレー

第3回

2022年9月22日(木)

シンガポール 「シンガポール 旧正月の料理」

講師：平岡弘子さん(料理)
イワサキチエさん(文化)

menu

イーサン
(中華風お刺身サラダ)

アングークエ
(亀の形をしたお祝い餅菓子)

棗のお茶



講師の平岡弘子さん
イワサキチエさん



シンガポールの
旧正月の料理を並べて

築地で世界のお祝い料理を楽しむ会

世界各国には固有の文化や宗教に基づくお祝い(ハレの日)があり、お祝い料理があります。そこには、その国の文化や生活が色濃く反映されており、世代を超え長く受け継がれているのが特徴だと思います。そのような事を考え、ハレの日の食事への関心を抱いてまいりましたが、IACで食イベントの企画や実施に携わり経験や知識を蓄積したことで、この企画をスタートできる事になりました。参加者にとっても一般的な料理教室プラスアルファの学びや楽しみが得られます。

高田桃子(ThinkEATLab 主宰 / 国際芸術家センター理事)

主催：ThinkEATLab <https://www.think-eat.info>

協力：国際芸術家センター(IAC)、築地まちづくり協議会

第4回

2022年1月26日(木)

南インド(インド) 「タミルナードウの 祝祭ポンガルの料理」

(南インド、タミル人のお祝い)

講師：武田尋善さん

menu

ヴェンポンガル
(豆と米のマッシュ状の粥)

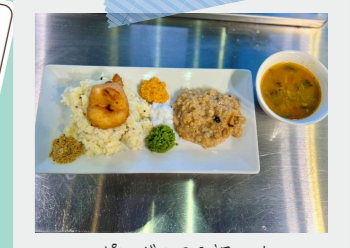
サッカライポンガル
(甘い粥)

サーンバール
(豆と野菜の煮込み、南インドのソウルフード)

メドゥ・ワダ
(甘くないドーナツ)

インド国旗の3色チャートニ
(カレーチャートニ、ココナッツチャートニ、
コリアンダーチャートニ)

ポディ
(南インドのふりかけ)



ポンガルの祝いには
ベジタリアンメニューでした



ポンガルの説明を
興味津々に聞く

第6回

2023年4月28日(金)

ハンガリー 「イースターの 四つ編みパン」

講師：三木フォリヌス・イベットさん



イースターのお祝い料理
揃いました

menu

カラーチ
(四つ編みのデニッシュパン)

サラゴシュ・ファーク
(イースタードーナツ)

カジノエッグ

フランスサラダ

イースターエッグの色塗り



ハンガリーのイースター
について教えて頂きました

第5回

2023年2月21日(火)

スペイン王国 「バレンシアの 火祭りのパエリア」

講師：高森敏明さん



講師にアドバイスをもらって
パエリアに挑戦

オジヤは日本の
“おじや”
の語源かとも
いわれているそう

お待ちかねの
試食の時間



パエリアとおジヤ、
かぼちゃのブニュエロ

menu

かぼちゃと塩豚のパエリア
(Paella de calabaza)

オジヤ
(Olla 野菜や肉の煮込み)

かぼちゃのブニュエロ
(Bunuelo de calabaza
かぼちゃのドーナツ)



地球 スペシャリスト講座

第10回

第11回

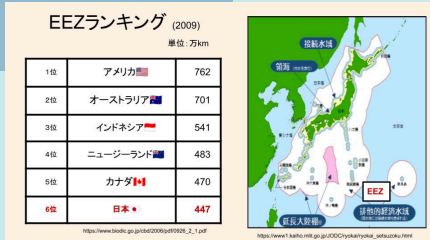
第12回

Global Specialist Course

講師：勝又美智雄



グローバルに活躍する「地球スペシャリスト」ともいべき方々のお話をうかがう企画です。今回は、「日本と世界の関係を考える」を大きなテーマに3回連続シリーズとして勝又美智雄さん（国際教養大学名誉教授）を講師にお迎えしました。日本各地の大学生に MC や資料作りでも参加いただき、勝又先生との質疑応答も活発に交わされました。「日本人が外国を理解することは、実はその国と比較して日本の歴史や文化の個性を理解することに他ならないのであって、一人の地球市民として、どこの国、どこの地域社会に入っていてもそこで現地の人たちに信用され、信頼される人間として活動することが大切」という勝又先生のお言葉がよく理解できました。



<p>森鷗外 1862-1922 留学先: ドイツ (1884-1888)</p>	<p>夏目漱石 1867-1916 留学先: イギリス (1900-1902)</p>	<p>永井荷風 1879-1959 留学先: アメリカ (1903-1907) フランス (1907-1908)</p>
--	--	---



MC: 三原黎香 (上智大学)



MC: 黒澤莉沙子 (実践女子大学)



MC: 小杉友香 (国際教養大学)

2022年9月17日

第10回

国際人からグローバル人材へ

20世紀までの「国際人」から21世紀には「グローバル人材」という表現が使われるようになって、その違いとは？

2022年10月8日

第11回

近代日本の中での3人の文豪たちの留学の意味と意義

- ・夏目漱石 イギリス留学
- ・森鷗外 ドイツ留学
- ・永井荷風 アメリカ、フランス留学

2022年10月29日

第12回

日本と世界を理解する

異文化に触れ、異文化摩擦などを経験しながら、日本と世界を理解するとは？

Student Reporters Project

学生記者プロジェクト

このプロジェクトも4年目を迎えました。これまでプロジェクトに参加してくれた学生たちの中にはより視野を広げるために留学した人、就職した人（本当に記者になった人もいます!）、私たちの活動を今も手伝ってくれている人など様々です。でも一つ皆さんが共通して言うのはこのプロジェクトを機にマインドが変わったということ。今後も皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

This year marks the fourth year since the start of this project. Among the past participants are those who now study abroad to broaden their horizons, those who became members of society (and one became a real reporter!), and those who still work with us. What they all say in common is that the project is really inspiring. We always welcome your active participation.

イラン・イスラム共和国大使館 2022年10月13日

岡山県立総社南高等学校の学生が取材しました。



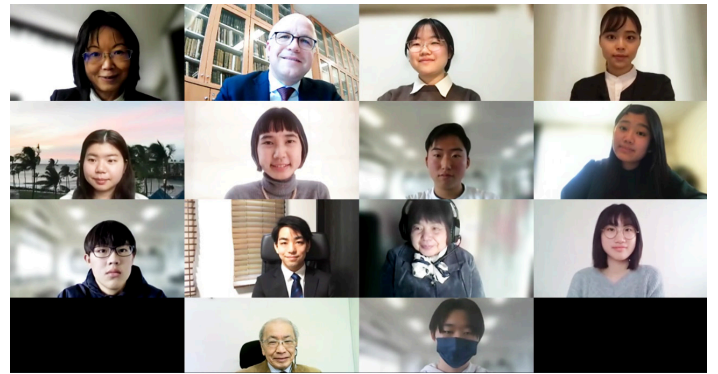
イラン・イスラム共和国大使館 ラヒミー文化参事官代理（上段左側）
森島文化参事室顧問（3段右から2番目）と総社南高等学校のみなさん



イランの学生たち（写真提供：イラン・イスラム大使館）

在京都フランス総領事館 2023年1月25日

オンライン取材



IAC 記者団（各地の大学生と兵庫県 AIE 国際高校の学生）
在京都フランス総領事のジュール・イルマンさん Mr.Jules IRRMANN
（上段左から2番目）



表敬訪問

2023年3月24日

高校生たちが、イルマン総領事を訪問しました。在京都フランス総領事館は歴史ある建物。今となっては珍しい構造や内装も多く見られ、イルマン総領事自ら、館内をご案内くださいました。



日本各地の学生による東京の大使館や関西の領事館への取材。
学生記者ならではの取材記事は IAC ホームページでご覧ください。

